

# 西小だより 春夏秋冬あっちこち

第50号  
平成30年2月16日  
桐生市小曾根町1-9  
桐生市立西小学校

## タグラグビー 5年 2/1(木) 6年 2/6(火)

昨年度はサッカーでしたが、今年度はラグビーで外部講師を招き、5年と6年を対象に体育の出前授業を行っていただきました。講師には、桐生第一高校から、霜村誠一先生をお招きしました。先生は、桐生市出身で、パナソニック(前 三洋電機)ワイルドナイツのバックスの選手として、また主将として何度も社会人日本一に導き、日本代表としても活躍された方です。現在は、



桐生一高で保健体育を担当し、ラグビー部監督をなさっています。先日の大会では、惜しくも明和県央高校に敗れてしまいましたが、霜村監督就任後、めきめきと力をつけてきているようです。是非、かつて全校制覇を果たした野球部のように、冬の全国高校ラグビーフットボール選手権出場常連校の仲間入りを果たしてほしいと思います。

ラグビーは、スクラムやタックルが代名詞ですが、今回は、ボールを持っている選手が腰につけたタグを取られたらタックルされたことになり、ボールを味方にパスするというルールの下で行う、タグラグビーの基礎を教えてくださいました。激しい身体接触が禁止され、ルールも簡単で、安全に競技でき、しかも運動量も多いということで、近年、学校体育にも採り入れられています。迅速に走り回りながら、パスをつないでゴールラインを目指すという面では、7人制ラグビーに似ているかもしれません。1回目ということで、まだゲームを行うところまではいきませんでした。向かい合っただの対戦で、大声で「タグ」と言って、相手のタグを取ったときの表情は、とても楽しそうでした。お隣の学校ですから、時間の都合がつけば、またお招きしたいと思っています。

ところで、雑談の中で、強いチームの条件を尋ねてみました。すると「あいさつ」「掃除」「整理整頓」との答え。何と、本校の3つの約束と一緒にした。スポーツの世界だけではありませんが、やはり相手を敬う気持ちが重要であり、その最初があいさつ。自分が使っている場所をいつも清潔にしておく、道具や用具を大切に扱う、それが自然と自分の身を正すことにつながるということでした。児童と給食をともにし、清掃の時間に校舎内を少し歩いてみたそうですが、「男の子が、黙々とトイレ掃除をされていて感心しました」とおっしゃっていました。一流の方は、見るどころをしっかりと見えています。トイレ掃除をきちんとやっていた少年、立派な大人になってくださいね。





# 長縄大会 2018年 2月6日・7日・8日

天候と場所を考慮し、今年度は、低学年(2/6)・中学年(2/7)・高学年(2/8)、3つのブロックを別々の日に実施しました。練習から熱が入り、当日は、子供たちが跳んだ数を数える大きな声が響いていました。ルールは単純で、5分間で何回跳べるかです。足し算なので、引っかかっても大丈夫なのですが、その分、時間をロスしますから、いかに速く、同じテンポで連続して跳べるかが勝敗を決めます。結果は、下表の通りです。

1秒に1回跳んで60回×5分=300回。さすがは高学年、400回超えは、すばらしいですね。  
 $300 \text{秒} \div 420 \text{回} = 0.71$ 。0.71秒に1回。 $420 \text{回} \div 300 \text{秒} = 1.4$ 回。1秒間当たり1.4回跳んだ計算です。2年生でも300回に迫るクラスがありました。アップパレです。

## — 大会結果 —

### ○低学年の部

第1位	2年1組	288回
第2位	2年2組	261回
第3位	2年3組	257回
第4位	1年1組	110回
第5位	1年2組	106回

### ○中学年の部

第1位	4年2組	360回
第2位	3年1組	300回
第3位	3年2組	252回
第4位	4年1組	163回

### ○高学年の部

第1位	6年2組	420回
第2位	5年2組	361回
第3位	5年1組	359回
第4位	6年1組	236回



写真右側  
上から

低学年  
中学年  
高学年



心を一つに  
テンポよく

タイミングが  
取れるように  
声をかけたり  
押してあげたり

